



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆が爆発した時の中心部だけ
でなく、表面温度が7000℃と、太陽の表面より
も熱いという事に一番おどろきました。爆心地
が何もなくなり、灰の世界になっ、てしまっ、たの
が、あた、り、の事だ、と、言、う、の、が、分、か、り、ま、し、た。さ、ら、
熱線だけでなく、衝撃波や放射線などの
被害も出ているし、瞬、刻、に、体、が、一、気、に、冷、ん、ぶ
う、な、気、持、ち、に、な、り、ま、し、た。

ぼくは、広島県の平和記念資料館にいら、た、事
が、あ、り、ま、す。た、く、人、の、写、真、や、絵、が、か、ら、れ、て、い、
る、の、一、つ、一、つ、を、見、る、た、び、に、胸、が、し、め、つ、け、ら、れ、る、
な、気、も、う、な、り、ま、し、た。し、か、し、原、爆、先、生、の、父、は
驚、き、ま、じ、ら、な、と、つ、つ、言、い、た、や、う、で、す。ぼ、く、は、本、当、は、し、
と、ひ、ど、い、い、状、態、だ、っ、た、と、い、う、事、に、ど、も、お、ど、ろ、き、ま、し、た。
原、爆、先、生、は、高、齢、化、で、こ、の、う、に、戦、争、の、事、を、伝、え、
て、い、く、人、は、な、く、な、ら、な、い、と、い、う、言、い、を、ま、し、た。ぼ、く、は、も、
と、昔、の、日、本、の、よ、う、に、戦、争、で、た、く、人、の、人、々、を、亡、く、し、て、
しま、わ、な、い、よ、う、に、今、日、原、爆、先、生、か、ら、教、え、て、ら、
た、戦、争、の、悲、惨、さ、や、お、ど、ろ、し、さ、を、周、り、の、人、に、伝、え、

10月24日木曜日
目黒区立目黒前小学校

6-1 高原権太郎

いそがしです。



原爆先生の特別授業を受講して



名前は表面に記入してください

私は、今回の特別授業で、原爆のおそろしさや、人々の様子を、なんとなく、すごい被害が出たんだという一言で認識してました。しかし、現実には全く違う事に気が付きました。爆心直下にむかうにつれて、人の姿がどんどん変形し、元々川にはほとと苦しい人間が一瞬で焼死して死んでしまったという遺体が沢山あったといいます。しかも、広島県全体で、5人のうち2人が亡くなったのです。今でも、原爆の病気で苦しむ人がいます。もう70年以上もたっているのに、戦争の痛みは消えていがないという事を思うと、胸が痛みました。爆心直下の所は、3~4000℃で、逃げができないので、原爆の威力を直上から受けたのです。今ある原爆ドームも、当時の写真が、大きな被害をうたえていたのうに見えました。上空600mで爆発した、B-29、リトルボーイ。この原爆は、長崎にも、このようの被害をもたらしました。直径が約

3.12m で節約女でもある巨大な物。こんな
ものは、この世にあってはいいのではないと思
いました。いくら戦争でも、一度に14万人もの
死者を出した原爆の威力は恐ろしい。この
経験は、次に活かされるようお願い
いたします。

10/24 (木)

山口 璃音

目黒区立 聖南小学校



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の授業を受講して、原爆のことについてくわしく知りました。自分は原爆を落とされたらまきこまれた人はすぐに死んでしまおうと思っていました。しかし今回の授業を受けて即死しない人が多。長い時間やけどで苦しむことを知りました。そんな物が日本に二つも落とされて当時。はとても、多くの被害、そして死者を出した。原爆はもう二度と使われてはならないものだとあらためて思いました。亡くなった方々のご冥福、お祈りします。広島の実験ドームからは原爆の威力が伝わってきます。熱線・衝撃波・放射線。どれも強力なものです。そしてそれによ。てできる原爆雲。あれがどうゆう原理でできているのかも知らなかったのととても勉強になりました。また原爆を落とされたB-29がアメリカではえいゆうとたたえられていることを書いたことがあります。とても校籍を金持ちになります。アメリカからすれば原爆は相対的にた。

3.12m で糸の女でもある巨大な物。こんな
ものは、この世にあってはいいないと思っ
ました。いくら戦争でも、一度に14万人もの
死者を出した原爆の威力は志願。この
経験は、次に活かされるようにと思
います。

10/24 (木)

山口 璃音

目黒 白豆 四角山 宣夜

けな11にして思11に来から毎月2人かおれ3人
人がいたんがと心におきなから生活して11日
11と思11した



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

10/24

僕は今回の授業を受けて気づいたことがあります。

それは広島県に爆たんがどく下されたのは知っていたけれど、お落した爆たんの名前が分からなかったし、爆たんはどくでどくしたり気圧や爆たんが落ちたことで周りの人はどのようなことが影響されたかなど、原爆先生が「フー」詳しく説明をしてくれたり、その時の状況を動作で分かりやすくしてくれたのでとても分かりやすかったです。

また、今回の原爆先生の授業で、原爆の熱さ、強さ、そして人々のつらさなどとてもよくわかりました。なので「平和」というものは自然にでき、あたりまえにあるものではなく、「平和」は自分たち一人一人がつくっていくものだと思います。

僕は原爆先生のおかげで原爆の怖さを知りました。そのことを今後の社会に生かし、原爆の怖さを人々に教えたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を受けました。すごいびっくりもしたけれど、とてもかなしいなと思いました。私は、さしよ、すごい人がたくさん、たこは、知っていたけれど、思っていたのとぜんぜんちがってびっくりしました。こわかったのは、ベンチにすわっている人か、いっしょにきて、はいになる、話の所です。私には想像できない事だらけで、頭の中がごちゃごちゃになりました。そして、生きているのか分からない人や、全身やけどしている人がいた、てきい、とてもかなしいなと思いました。だから、この先は絶対、せんそうは、してほしくない、しては、いけないんだなと、あらためて分かりました。そして、原爆先生のお父さんの動画をみて、とても心が痛くなりました。そしてこの事を多くの人たちに知ってほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

最初は、無言の間がずっと続きどうしたのかと思
 いました。しかし、その後無事に授業を受けら
 れてよかったです。そして、なんと原爆先生は、今日
 の特別授業の主人公である池田義三さんのお話を
 あることにとってもおどろき、貴重な体験だと思いま
 した。今までには原爆が「おそろしいもの」ということは知って
 いたが、これまで深く考えることはなく、こんな日は日ごと
 やすく教えてもらっていたことにはなかなかったです。だから
 正直、今日特別授業を受けて、原爆や戦争などに
 対する考え方や感じ方が変わったと思います。
 そして、いろいろなことを教えてもらった中で最もおどろ
 いたのが、原爆が太陽よりも熱く、太陽よりも
 近い所にあるということでした。そんなものが空に
 あったと考えると、その後のことを考えると想像するだけで
 ゾッとします。そんなことが実際に起きたわけだから、など
 という原爆についていろいろ考えるようになった。
 今回の授業は、今まで受けたことのない内容と
 独特な授業の仕方でもとてもおどろき、そして、
 原爆などに対する考え方や感じ方を変える大きなきっかけに



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

ほくは、原爆先生(池田真徳さん)の話しを聞いてこう思いました。さんくた"な。と、

でもそんなの聞いての"とんでしまいました。

なぜなら、アメリカが起した原爆にいらだててしまったからです。また、悲しいと思いました。

原爆先生の話しを聞いても、なぜ"投下したのかはまだ"にはよくはわかりません。

そして話しの後半、元安川の悲劇。

貨物が"リ"としました。また、熱線・衝撃波"と"放射線"の"の"の話しを聞いて、なぜこんなことをしたのだ"らう"と思います。

それと、資料館"の"人の模型を見た義三さん(先生の父)の一言、"それ"いた"ら"と"い"った"と"い"う"こと"を"ま"い"て"お"ど"ろ"ま"し"た"。"こ"れ"は"り"こ"と"い"い"と、"ど"の"く"ら"い"な"の"だ"ら"う"と"一"し"ゃ"ん"う"た"か"い"ま"し"た"。"で"も、

原爆のお話を聞いた"た"ん"話"し"が"わ"か"っ"て"ま"し"た"。"と"て"も"と"て"も"つ"ら"い"つ"ら"い"経"験"だ"ら"う"と"思"い"ま"す"が、"ほ"く"た"ち"も"次"の"世"代"に"伝"え"た"い"な"と"思"い"ま"す。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受け、改めて原爆のこわさやおそろしさ、ひさんさを知りました。私は、8月6日午前8時15分に原爆が広島に、8月9日に長崎に落とされたことしか知りなかつたので被爆した方が大やけどを負い手の皮がむけてしまったり、川に飛びこんだりしたことや、町が色もなく、ただ灰色になっていることなどを聞いてとても胸痛くなりました。また、アメリカは、原爆を落とし、被爆者が24万人、死んでしまつた方が14万人もいるのに何も思わなかつたのか。とアメリカに對して、少しいかりを感じました。さらに原爆資料館にある人形に對して、「怖いすきる。」と言つていたことがとても心に残りました。私は、原爆が落とされたときの被爆した方を見ていないので、資料館にいていふ人形のような感じなのかと思つてしまいます。だから、今回のお話を心に留め、広島に行つたときは、原爆で亡くなつてしまつた方が天国では楽しんでほしいと祈りたいと思つきました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の話を聞いて、天の御化を知りました。その中
から僕の思い出が二個あります。

一つ目は、原子爆弾が恐いという事です。今までは、原爆
などと呼ばれていた分が、この時からは、原爆と呼ぶ
ようになったと知られた。恐いという天の御化の御化が大変
な事だと知りました。

二つ目は、原子爆弾の威力です。原爆は、地上から約600m
の高さの所に、直径200mの（橋）の大きさで、中心温度10万度、放射
線量は7000度と太陽の表面温度よりも7000度も高いといわれています
その地上からの温度は、3000℃と人の肉の水分が蒸発して
しまうほどの温度といわれています。人の肉は、3000℃と入
ると瞬間的に蒸発してしまいます。その時の衝撃が凄まじいとい
われています。そして、人の肉が死ぬことになり、大変な事だと
思っています。

そして僕は今の暮らしが、この世に思っている暮らしをしてい
たいと思っています。そして、原爆が投下された人々の
今の暮らしが、この世に思っている暮らしをしてい
たいと思っています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

はくはこの原爆先生の特別授業を受けて
 はくの体験を通し、原爆のイメージよりも
 もっと被害が大きいのだと知りました。
 はくは去年、広島に行って原爆ドームと原爆
 資料館に見学に行きました。そのときにお
 れた三輪車は破けた服などを見て、さ
 らにスライドにもでてきた皮膚が火傷したた
 れた人をイメージした人形を見て被害の大
 きさを実感しました。しかし、被爆地に行
 った池田さんの話をビデオで見ると、あの
 人形はきれいすぎるという言葉に衝撃を
 受りました。また、別のビデオで「池田さんが泣き
 がら話しているのを見て、胸が打たれました。
 他に爆発直後周辺の空気が暖められ、その温
 度が100万とになっていたこと、爆発で周辺の空
 気が太陽の表面温度より高い7000℃になってい
 たことを聞かされておどろきました。おまけとして広島に原爆
 落としたB29「エノラ・ゲイ」といふ名前は機長が自分の
 母の名前をつけたと聞き、自分の母の名前をつけた爆撃手

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

機が「何十万人の命を救ったことを考えると
 不思議な気持ちになりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日原爆先生から原爆のことやその被害、
実体験者が見たもの、そして被害者の思いを
全て伝えられ、胸にひびきました。今私も原爆の
ことは聞いたことが何度かあり、たけれど、やっぱり
なんとなくいかとらえられていませんでした。

そのため今回私は先生がみせてくれた実体験者
が話すDVDをみて、とても悲しくつらく、さかく
おそろしい原爆はっかっては絶対にだめなんだと
感じました。これからもこの思いをそのまま伝えたい
と思います。しかし、体験者と聞いた人ではその
思いの度合いが全然ちがうことも同時に知り
ました。それは広島原爆ドームの近くにある平和記念資
料館も実体験者が見たときに現実と記録に
差がありすぎて何の感情もわいてこなかったこと
です。実際に見ていない人が展示物を見てもこれだけで
は単純の悲しさつらさ苦しさを全て伝えきれない
ことを知りました。このことも心にためておきたいです。一
もちろん今も被害者の中では原爆のせいでつらいも
います。だから人々がつらさを知ってほしいとばかり思い、これ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

から先もずっと平和がっついてほしいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

僕が原爆先生のお話を聞いて思った事は二つあります。一つ目は、原子爆弾がとても恐ろしいものだということです。広島に投下された原爆は大きさを重さを合わせての大きな爆弾ですが、僕はこんなものかと思うと落ちてきて爆発したら、と考えると怖くて体がゾクゾクとして身震いから止まりません。そして爆発したときには直径200mの球体が出て、表面温度が7000℃、地面の温度が3000℃になったとあって、これだけかこんな事になったら恐ろしくてたまりません。放射線もあびてしまうので、恐ろしいものだと言う他ありません。

二つ目に思った事は、原爆や核兵器など一瞬にして人の命をうばってしまうものはこの世にはならないという事です。原爆にあってはたまたまの人はたまたまの世にあってはならないという事です。原爆にあってはたまたまの人はたまたまの世にあってはならないという事です。原爆にあってはたまたまの人はたまたまの世にあってはならないという事です。

そして原爆にたいてい語る方が少なくなっている中で原爆にたいていのお話を聞いたり、新聞やテレビの映像にたいてい見たり、



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日原爆先生の授業を受講して、原爆のおそろしさを知りました。原爆は表面温度が7000℃で、つまり太陽よりも表面温度の高いものが近づいてくるようなもので、それによつて、体じゅうの水が蒸発して死亡してしまう人、外に、つまももに熱線と衝撃波を受けていっしょに死に至った人、なにかがいてそれにより、被爆者数24万人、死者数14万人になってしまいました。その時の広島市人口は35万人だったから、広島市の40%、つまり4分の1の人が原爆によつて死亡したということになります。この14万人の死というのはとても悲しいことでは、ぼくは、このように、原爆というものは、たっただいっしょんでいたたくさんの人の命をうばうものであるから、この後の未来でかくかくさんすること、なにかがなくなつてほしいと思ひました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろしさ、戦争のこわさを知りました。

アメリカとの戦争の末におきてしまったこの広島への原爆の投下、この1つの爆弾で広島市の40%、実に5人に2人が亡くなってしまったという話は、聞いていただけで心が痛みます。また、全身に大ヤケドを負いながらどうにか爆心地から逃げようとして必死になっている、そんな人々の様子は、とてもいたいたしいものです。しかし、実際の体験は、想像を絶することでしょう。アメリカの出した原爆投下の条件に当てはまってしまふからという理由で約14万人の命がうばわれてしまったというのは、とても悲しいことです。たとえ被爆することかできた人でも放射線による病気で長い間苦しむこととなります。なんでこんな目に...と思った人もいたでしょう。誰でもいいから助けてくれと思った人もいたでしょう。戦争はんで、人の命が無駄にうばわれてしまうだけだということもあらためて知りました。日本はその経験を挙げて、この後の未来に戦争をあることがないように、今の平和な様子をこのまま保ってほしいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業で、原爆について学びました。ぼくはそのお話の中で、おどろいたことが二つあります。一つ目は、原爆での死者数のことで、広島市に原爆が投下された時、元々そこには住んでいた人々35万人に対し、被爆者数が24万ともいたということです。これに#
とともびっくりしました。原爆で、こんな大勢の人の命がうばわれて、とてもおそろしい物だなと思いました。二つ目は、被害を受けた土地の広さです。広島市の原爆の半径が2kmあるそうです。たった数個の原爆で、これほど広い土地が、1つ4人に1つを消え去るといふことは想像するだけでも怖いことです。僕はこのことから戦争をしないということから一善だと思いました。戦争をすることは、何人の死者外で済んだりするのにおおじろいじゃないことだ"と思います。平和な世界を作るには、戦争をしないことです。このことをぼくは学びました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

私は、今までに何回も原爆の恐怖を伝えられてきた。でも、それを悲しい出来事だ、もう二度とそのおぼろげなことをしてはいけない、そう思う自分と、東京じゃなくて良かったとか、自分とはおれい関係がたいことだと受け止めていた自分とがいた。そんな気持ちでこの授業に臨んだが、私は2つのことに心を動かされた。1つは説明の中であった原子爆弾投下都市候補である。広島、長崎が入っている中、左下に「横浜」とあった。結局、投下される候補は広島、小倉、長崎になったと聞いたがその候補に横浜もいることを知ったときは背筋がゾッとした。もし、自分が1945年に生きていたら東京に住む私は、横浜に投下されればその被害は計り知れないおぼろげなおぼろげなところがある。だから、自分も関係あるんだ、そう思った。もう1つは、義三さんの言葉である。原爆資料館にある資料のうち、被爆して、皮膚がはがれている様子になった人を見て私はやりきれない思いに陥って目をそらしてしまった。でも、それを見た義三さんが「きれいなさる」とつぶやいたと聞いた。今はもうおぼろげなところであるおぼろげな被爆者の言葉で表現できないほどの痛さ、辛さを痛感した。だから義三さんが原爆慰霊碑の前で思ったように、それは深くおぼろげな平和を願った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講する前は、原爆は、原子爆弾によってたくさんの方が亡くなったという、ふんおりの意味でしか聞いていませんでした。しかし授業では、なぜ広島と長崎に原爆がおとされたのか、なぜこんなにもたくさんの方が亡くなったのか、原爆が落とされた直後はどんな様子だったのかなど、様々な疑問を先生に、まるでその場所にいるかのような声の大小などの工夫をしながら、写真や図を使って説明してもらえたので、原爆などを使って、たくさんの方を殺してしまう戦争を絶対におこしてはいけないという事を新たに思いました。これから先生の話しにもどってきた「原爆資料館」と「原爆ドーム」のある広島へ行って、もっと原爆にかよくおくなり、友達などに、原爆のおそろしさを伝えたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/24

私は、義三さんが21歳にもなっていながら17歳の時に徴兵
されていたことに驚いた。消火作業や死体の始末を9日間
行うのは苦だったと思う。そして、広島に落とされた原爆
「リトルボーイ」によって24万人もの人が被爆し、14万人の
人々が亡くなったことに対し、恐怖を覚えた。原爆
が落とされた直後はまだ生きていた人も、焼け死
んでしまったことがなんとも悲しかった。戦争が
終わり、平和になった現在も、まだ原爆症に苦
しむ人がいることを知り、原爆の怖さを感じた。
現在、焼けた広島県産業奨励館は原爆ドーム
として世界遺産に登録されている。原爆ドームは
戦争をもう二度とくり返してはならないという、被爆
した人々のメッセージだと思う。そして、戦争から70年
以上が過ぎ、被爆した人は減り、高齢化も進んで
いる。私たちは、被爆していながらうまく伝わらないか
もしれないけれど、未来へ原爆のことを伝えていかなけ
ればならないと思う。もう二度と戦争をくり返さず、
今の平和をずっと保っていくために、これから、平和に
ついて深く考え、原爆について深く知りたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆げんばくというのはあそろしい。ぼくは今回の原爆先生
 の授業で、原爆というあそろしく何万人も殺してしまう兵
 器のことをおそわった。原爆は1945年、長崎と広島にと
 下された。とくに今回は広島のことを教わった。広島にと
 下されたのはリトルボーイという原爆で、爆発すると中
 心温度は700万℃で表面は7000℃にもなる原爆だっ
 た。爆心地は島病院上空600mのところだった。一
 瞬のうちには人々はこの世からいなくなった。また話を原爆
 にもとずくと原爆は主に3つの物を出すことが分かった。そ
 れは熱線、衝撃波、放射能である。だから、これを
 まともにくらした人たちは一瞬で姿を消してしまっただ
 けである。また、生き残った人々さえも、はたがとけてしま
 ってしまうのである。そしてこの原爆で広島市の人口35万人
 いたうち、被爆者は24万人、死者は14万人いた。
 つまり、5人に2人死んだことになるのである。
 ぼくは、今生きていることがとてもめでたくなっていること
 は知らなかった。だからこれからは、生きていること
 に感謝し、広島でなくなった人をおもいながら、
 生きていきたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、自分にとって
とても大切な体験ができた。昔からテレビや
本で原爆について見たり、読んだりしてはいたけれど
今、このようにして体験が出来るのは初めてだ。とても自分
にとっての特別な体験だ。そして、大切な原爆の歴史を
知ることが出来た。原爆の歴史を知ることが、自分自身
の歴史を知ることに繋がると感じた。これからも、原爆の歴史
を大切にしていく。

原爆の歴史を知ることが、自分自身
の歴史を知ることに繋がると感じた。これからも、原爆の歴史
を大切にしていく。原爆の歴史を知ることが、自分自身
の歴史を知ることに繋がると感じた。これからも、原爆の歴史
を大切にしていく。

原爆先生の特別授業は自分にとって大切な
体験ができた。とても大切な体験ができた。昔からテレビや
本で原爆について見たり、読んだりしてはいたけれど
今、このようにして体験が出来るのは初めてだ。とても自分
にとっての特別な体験だ。そして、大切な原爆の歴史を
知ることが出来た。原爆の歴史を知ることが、自分自身
の歴史を知ることに繋がると感じた。これからも、原爆の歴史
を大切にしていく。



名前は裏面に記入してください

じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して



ぼくは、原爆先生に教えてもらってとても自分のためになつたと思います。当時の状況がとても分かり、すごく悲しい気持ちになりました。原爆で多くの人々が命を落としてしまいました。この広島に原爆を落としたのはB-29というアメリカの飛行機です。そしてアメリカが原爆させようとした候補となつた都市は、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都のもつて一番おされたのは京都たつたのですが、重要な文化財を爆弾で壊かしてはなつたないと思ひ広島にしたそうです。このような爆弾がほかの都市にきてほしくないとぼくは思ひます。広島に原爆がおちた時は上空600mほどの所でぼくはつしたそうです。その時は大きなしょうげきをうけた人がたくさんいてふるえかてまらなかつた人がたくさんいました。このような体験をしてぼくはとてもよかつたと思ひます。また、このような事がまたおきたらぼくは一人でも多くの人の命をまもりたいです。



原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を受講して
 する前に思っていたことは、自分の想像してい
 たものとは全く違うということでした。決して
 原爆を軽く見ているわけでは無いのである
 が、思っていた原爆の被害や火傷のひどい
 とは実際とは比べものにはならないほど
 でした。ふくらはぎまで火傷し、汗が止まらな
 くなるほどであったという話は思わぬ
 身ぶりをしてしまうほどでした。火傷で皮が
 はがれ落ちてしまうという話は想像もでき
 ないほどで、地獄のような苦しみでした。この
 だと思いました。また放射能による苦し
 む人がいると聞いて原爆の恐ろしさを
 より強く心に感じました。池田義三さん
 の手紙を読んで、「生きてゐる者は、七千犠牲者
 や戦友に冥福を祈るのみ」という言葉が心に残
 り、今回の様に実際に現地へ行くことはでき
 なくても原爆の恐ろしさを頭に打ち込み生活す
 るべきだと思いました。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して



私は今回この授業を受講し、感じたことがあります。

このようなことがまず、現実、起きたこととは、考えられません。私は人々の様子、広島の日々間の様子、全てを聞くたびに本当のおそろしさを知りました。

私は今までおそろしさに「お、こわいんだ」「お、お、感じていながら、たかもしません。もちろん、放射線は怖いだとか、危ないだとか、今までに聞いたことがありますか、本当に本当におそろしいと分かりました。

私達が生きる現代社会、楽しいことも知らなくてはいけない、いやなことでも知らなくてはいけないと思います。その中で一番知らなくてはいけないのは「過去のことだ」と思います。過去のことをしっかり知らないといけない、そう感じました。

誰もが知らなきゃいけないこと。これが私の感じたこと全てです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

ぼくは広島と長崎に原爆が落ちて何人も
 人が亡くなったのは知っていましたが、
 実際の写真などを見たことがなかったの
 主に広島が昔どんな風だったかどう
 かわりません。ぼくのおじいさんが広島に
 います。その原爆のことを聞いて、言葉だけでは
 想像できなかった。今回の話を聞いて
 原爆をおとした飛行機の種類や原爆の
 種類も知ることができた。池田さんの話を聞い
 て見て初めて戦争はあんなにひどいこと
 があった。爆した人を想像したことが
 ない。本当に悲惨な人達
 の苦しみや痛みを想像する。原爆に
 当たった工場は壊れてしまった。それ
 が600m上空で爆発したのを
 見た。目標は少しずれた。ひどい
 爆発だった。これでも、2週間
 ほどを過ごして、おじいさんに
 話を聞かせてくれた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

10/24

私は原爆について広島に、8月6日長崎に、8月9日におとされたという事は、知っていました。それだけしか知りませんでした。あまり原爆について関心を持ち、くわしく調べた事をして居たので、今日の授業を聞いて、聞いていただけだったのに、ものすごいおそろしさを感じたので、実際にひびくされた方々は、言葉にあらわせないほどおそろしく、こわい思いをしたのだと知りました。今日の授業で、原爆の中心が100万度で、表面が7000度だということを知り、太陽が、自分のすぐそばにあるようなことと思じたという事なので、少しも想像がつかいません。今日の授業でいろいろなことを知れてよかったです。日本人として、いつか原爆ドームを見たかと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/24

原爆がどれほどの規模であったかや、その当時、
被爆した人の様子などをよく知りました。
特に、原爆は、中心部が100万度で、まわり
は7000度もあることで、太陽の表面温度の6000度
よりも高い温度だったので、とてもおどろきま
した。とても、すごいと思ったことは、二つあり
ます。一つ目は、原爆投下によって広島に下り
た原爆雲です。この原爆雲の形は、原爆にお
よぼ空気中の気体が軽くなり、ある一定のところまで上
がってしまったら、上がれなくなって横にのびることで
あることに、二つ目は、広島市の被爆率が、
約70%、死亡率が40%だったことです。
これは、広島市人口が35万人で、被爆者数が24
万人、死者数が14万人にもなっていること
に、どちらもすごい力だったんだなと思
いました。この原爆先生の特別授業を受けて、
今の時代が戦争の時代と比べてどれほど
（あわせであるかを改めて知りました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

水に入れば熱くないと思っ
ていたが、いっしょんでぶっとうしてしま
うので、ぎくにあついと知った。
原子爆弾の投下に、条件があつた
とは知らなかつた。
原爆の中心が100万℃というバカけた
数字にとてもおどろき、周りで、7000℃
という太陽以上のあつさの物体が、600
mという超至近まじりに見れたときの、その
場は言葉に出来ないほどあつかつたであ
らう。投下したエノラ・ゲイでさえもこわ
れるかと思つたほどのしゅげきを2回もうけ
たのだから、その場にいた人のとくなら
は、でたらめなおぼろげなひさしだつたであ
らう。そんな事は、今まであまり考えた事
がなかつた。考えても「あついで」ですま
せていたと思つた。だから、この原爆先
生に来ていただいた時間、はとても大
切な時間で、また多くの大切な事を
教えてもらった時間だと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、新しく学んだことがいっぱいありました。その中で一番印象に残ったのは原爆のいカのことです。原爆の中心の温度は1000000℃表面も7000℃の高熱で、太陽の6000℃よりも高い温度が、真上東京スカイツリーほどの高さにあると始めて知りましたが、原爆は、熱だけではなく、放射線も原爆のいカの中うちだったと、原爆のいカのすごさを始めて知りました。

2つ目に印象に残ったことは広島に原爆が落とされたときの死亡率です。被爆者数と死者数をもたしても、広島市の人口以上だということに、実感がありました。平和な社会を作るために、原爆とは、大きな教訓となつてほしい。ぼくも、核兵器はいりやうくないです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

主人公である、池田義三さんは本来17歳で徴兵
されるのに、17歳で陸軍に入っている。もし僕が
第二次世界大戦で池田さんと同じ年で徴兵
されるとしたら、あと5年少し...と考えると堪えられなかった。
原爆が落ちてすぐかき消火作業、その後
死体の処理、焼き火と本当だったと耐えられず
地ごとを耐え、生きていた池田さんをおどりと思い
また、僕達に原爆のおそろしさを教えてくれる
人達がいると思うと僕達も原爆のおそろしさを
後生に語りついでいかなければならないと
感じた。僕は塾で広島と長崎に最初の原子
爆弾が落とされ、大きな被害が出たとして
教わってなかった。原爆を落としたアメリカ
は京都に原爆を落とすといひと学者などに
押さえているのに文化がいかに日本人の
日本人の感情を考りよしいろと考えると、アメリ
カは原爆を落としてしまっただけで、
「これだけ戦争を終らせるために仕方なか
らなかつた」と考えた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日も大原爆先生の特別授
業を受けてたくさん^{の事}を学びました。ぼ
くはこれまで原爆の事については、全く
知りませんでした。今回知った、広島・長
崎の原爆のしん相を知ることによ
うくして、直徑3m、重さ4tの原爆
が東京に落ちたらと思うとゾッとしま
した。人の皮が炙り焼ける様子をみる事
なんて自分にはできません。原爆先生にお
と人とは思えない姿と表現していたのびと
てゾッとしました。ぼくが一番おどろいたのは、
原子爆だんの1カドがばく発した瞬間に
3~400℃の熱線や放射能波がト気
来る事におどろきました。ぼくが原爆
特別授業を聞いてからは、何も無い事が
嬉しい事です。特別授業を受けてぼくは
今も大切に生きようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

もともと、原子爆弾が恐ろしいということば、
 知っていたけれど、実際に被爆者の話を聞
 いて、2つのことにおどろきました。1つ目は
 原子爆弾の威力のことです。原爆の威力には
 3つの力があり、熱線、衝撃波、放射線です。
 私は特に、熱線のことについておどろきました。
 どうしてかという、太陽の表面温度が約
 6000℃のことに対し、原爆の中心温度が100万℃
 であり、さらに、原爆の表面温度が太陽よりも1000
 ℃も高い、7000℃だと知ったからです。そもそも、鉄
 がとける温度が1500℃なのだから、原爆が投下された
 広島や長崎は、全てのものが、人が一瞬にして
 なくなってしまう、たには、とても原爆に打つた
 恐怖を覚えました。2つ目は、島に帰ろうとした
 ときに出会った、10歳の男の子とそのお姉さんのこと
 です。男の子がお姉さんを必死に助けようとして
 くれたから、お姉さんは助かったのだと思えます。
 このことから、日頃の訓練は、とても大切なこと
 と改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、広島や長崎に原子爆弾が投下されたときの人の様子や町のかたちなどをくわしく知ることができました。

私は八月六日に広島に、八月九日に長崎に原子爆弾が投下され、やがて八月十五日に日本が終戦をむかえることができたことだけしか知らず、その時に日本はどんな生活や様子だったのかはくわしくは知らなかったのを知ることができてよかったです。

でも、私は原子爆弾が投下される候補となっていた都市が、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都であったこと、そして京都が一番よいことになり、しかしやめたことは知っていました。しかし、京都が日本でも有数の文化財があって、それを原子爆弾でこわしたら大変なことになるからやめたことは知りませんでした。天候によって変わることも知りませんでした。知らなかったことをたくさん知ったことで勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

まじは原爆先生の授業をきいている人な
 こゝを学ぶことができた。1つ目は
 原爆に対する考え方です。今まじは原爆
 といわれ たときにとんちが物かとい
 うことが知らずしにくかたけど
 今回の授業を通じて原爆がいかに危
 険な物であるかの人の命を奪ったの
 ということも理解することができま
 す。2つ目は原爆がどれくらい
 に被害がおったのかということ
 原爆の熱は太陽の6000℃上
 りも1000℃高い7000℃で
 太陽が地球から600kmのところにあ
 り大変なことだとしても広島初めに
 70000人が被害にあって400
 00人が死したという大被害を
 被害をいこうとしたの原爆
 は危ない物でありたためか
 はいおと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

10/24

私は4tものばくだんを積んで、3000kmも移動したのとはとてもすごいと思った。また、原子爆弾投下都市の条件の三つに全内得した。理由は、5kmを超える都市に落として、被爆者を増やし、平野で火の海の面積を増やし、空襲がないとついで灰の面積を増やすこの作戦が完璧だと思ったからだ。

次に私は原爆の威力を知ったときとても驚いた。理由は、20m程の球体なのに、中心温度が太陽と同じ(約100万度)で、表面温度が太陽より約1000度も高いからだ(太陽6000と原爆約9000)。また、衝撃波の速さは音速よりはるかに速い(音速は約340m、衝撃波は約440m)のだから、それや建物が倒れて当然だと感じたのも理由の一つだ。

最後に、私は原爆の恐ろしさを直接見たわけでもないけれど、今日の話を聞いて、もう永久に原爆が落とされてほしくないということだけは、具体的な教値を聞いて、より感じるようになった。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

10/24

原爆先生の特別授業で、戦争のない平和と命の大切さについての二つのことを学びました。理由は、原爆は広島と長崎に落ちて、大変な被害がでたこと。そして原爆の恐ろしさも学びました。熱線衝撃波放射線の中の三つの原子爆弾の威力の中で一番熱線に耳をかたづけました。太陽の外部の温度は約6000℃に対して原爆は外部が7000℃ 1000℃もずかうとが分かった。それに中部の中心は100万℃！そして600m下の地は300℃という熱線の恐ろしさが分かりました。そんなことで人々はやけどをおいしました。だからぼくは原爆先生の特別授業で戦争のない平和が必要だと学んだ。そして外からに生かして命の大切さにも学びました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

7000-0 の字は最初は意味不明の題名だった。
話を聞いていくうちに分かった。
リトルボーイの表面が7000-0だからかと思った。
江田島 から三川まで行って帰ってくる道筋は、人
が生死の境目にたどり、必死で兵隊に助けを求めて
泣きさけぶ気持ちは、戦争を体験せずに平ぼ
んな毎日 とっても楽しく幸せな日々がたくさんある
人間には永遠に分らないだろうと思った。
現在の地球で起きている悲しい 悲しいな事件、
事故、災害と比べたらどちらがおそろしく悲しい
かは、誰にも分からないような気がした、
そう思った理由は、命は一しよだからである。
人間の手で命を救うことが出来るのであれば
救うべきだ、人を殺さないべきだと思った。
原子爆弾を落とさせる候補は、た都市を聞き、京
都に落とした方が効果的 であるという意見を
多くさん出たが京都には結核層落とされるが、
その理由は、文化財と人の心を大切に思っている
ことと聞き感動した。自分もアメリカだったらと考えさせられた



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

話を聞いて「原爆」によって、皮膚がただれてしまふことや、姿ごとなくなつて黒いカゲのしみが階梯上のこぼれたことも知れた。また、消火用の水、川の水が蒸発してしまふほどのあつたになつてしまふほどの力、直径200mほどの球体の表面温度が太陽の表面温度より1000℃も高くなつていて、爆心直下では、もうほとんど人がなくなつてしまふのを知つてとてもおどろきました。また、今知られている原爆のおそろしさよりも、実際はもっとおそろしいものだと思つたと、原爆が早く世界からなくなつていなければならないと深く思ひました。原爆を投下する都市がさまざま条件があつたこと、天候によつてどこに投下するのかがどうかを決めたことを初めて知りました。また、キノコ雲が、どのような形でできているのかわからず、原爆によつてものすごい上昇気流ができてしまふことにおどろきました。に人々にもおそろしい原爆が多量に存在していることにとつてもおそろしいものだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

広島県に原爆が落とされたことやそれによって多くの人が
 亡くなったことは知っていたけど、放射能をあびて今も
 なお原爆症に苦しむ人や残こくな被爆の様子を忘れ
 られず心大深い傷を負っている人がいるということを知り、
 とても驚き、恐ろしくなった。小さい頃長崎の原爆資
 料館に行ったとき、やけどをおおった人の写真や、着て
 いた服などを見て、怖いなと思っていたけど、実際に
 その場に行った人から見れば、実際はもっと残こくて悲惨
 で、言葉では言えないほどに辛く、苦しいものだった
 と知り、もう二度と同じ事を繰り返してはいけな
 いと思った。防火用水桶の中にあつた死体やキノコ雲、
 全身にやけどをおおいた人間とは思えないほど焼け
 焦った人の姿は想像する事はできないが、言葉が
 その悲惨さを物語っていて、話をきいただけでも怖い
 のに、実際に見た人、被爆した人たちはどんなに怖
 かっただろうと考えると、胸がしめつけられた。今はとて
 も平和で、それが当たり前のようになっているが、その背
 景には戦争で亡くなった人、傷を負った人の強い思い
 があつたと分かったので、これからも平和を維持したいと思つた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生の授業の最初はきこわく
したけれど中から先生の話をきいて
よもして勉強したい気持ちで最初
より上になりました。最後の先生のま
父こん属いた手紙に感動しました他にも
資料館でやけどして心か付か小あ
ちていふ人物を見て生々しいといっただの
がぼくの心になびきました。なぜなら
ぼくの祖母が山口に住んでおり、祖母
の父、祖母が広島に原子爆弾が投下
されたとき爆発したときどかんと空が光って
音が聞こえその後、きの雲が空に見えたて
聞いたときぼくは、中かたからです。夏休み
ぼくは、山口から広島に行きまして、原爆ドームを見てぼくは、初
場をぼう然と立ちつくしていました。その後、平和交
会碑に行き千利鶴を見ておどろきました。塾の国
語の読解で広島に原爆の事で被爆者たちが山の
方へ逃げてきてく内容でした。他にも社会の歴史の授
業で原爆のことを習い、あらためて原爆の恐ろしさを知りました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくは今回原火暴先生の特別授業を受講して
 原火暴が人にどんなことをやらせたかを知りました。話
 をきく前からほくは、その当時そこにいた人たちの
 気持ちを思うと少し悲しい気持ちになっていました。
 原火暴をくらった人が「助けて、助けて」と言っていて、火暴
 首たちをひきはなそうとした日誌に、手がかけなくて、火暴者
 がとらえたゾーンで、ほくはそれと気付いた。それと野
 田通って11日、ななめ前に手をむくいている人がた
 くしと気付いたが、それを聞いた日誌は、本当にその先生
 までいたのか? と思うほどおどろきました。広島に原火暴
 を投下したエノラ・アースは、火暴頭を上げるため
 右側に一回しよすが、一度機体が二枚折れるの
 けうけさくをくらった事にもう一度けうけさくをくら記してある
 えたことを知って、より原火暴のおそろしさを知りました。
 いるいる戸所まで、気味の悪いゾーンが「あたりして、とちうで」
 少し気味の悪いなったりはして、でも、原火暴のおそろしさを
 知ってからは、後世で「原火暴+よして大丈夫じゃない」と思ふこと
 が無いように自分たちが後世に原火暴のおそろしさを伝える
 のが大切だと知った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは最初原爆のことは自分に関係ない
 と思っていました。今日原爆先生の話を聞いて
 原爆を受けた人の話や悲惨な年がぼくは
 同じ日本国民の心で「戦争」を聞き身ごと
 ためた心で「戦争」がぼくが原爆先生の話を聞
 いて印象に残ったこととまたまた開くのを
 待っていた人が原爆投下の一瞬にして首を切られた
 ことが悲しい印象に残りました。ぼくはもう
 一つ原爆先生の話を聞いていて、アメリカは最初
 原爆投下を広島ではなく京都にしようとしていて、京都は
 は重要な建物があり、世界でも重要な都市だから、
 爆撃（まじんご）したと原爆先生が「あつかった」ときに
 ぼくはアメリカも日本に対して行ったことは多くの命を
 取ったが京都を候補からはずしたのは日本に少しだけ
 けれど日本に配りよしてくれたいとは思いました。ぼくは
 原爆先生の授業を受けて一か視点からだけでなく
 多くの視点から考えらわいよつになりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

・私は戦争という物にふきとして、原爆が使われて
 いる事をしていたが、どのような物なのか、どのような
 強さなのか、くわしくしなからたが、今回の授業でよく
 わかた。私は原爆は適当に打っているのだと、
 思っていたが、条件があることにおどろいた。
 原爆は天候によつて、投下する場所を変えなければ
 ならなると、知た。

・私は、広島のだいじゅうという本を読んだ事がある。た
 ら本では川の中に人が死んで、焼けて肉がみえて、
 空は黒く、一面灰色の世界という事しか書かれてな
 かつたので、そこまでおそろしさを感じたが、本当
 は、あふはたんだが火やけどをおり、肉は見え、
 骨も見え、顔は赤くはれ、いらしゅんにして、人々の
 命がうしなわれたと、知り、原爆という物は世の中
 にあつてはつけな物と思つた。そして、一番おどろ
 いた事は、太陽よりも、原爆の方があついと知た。
 太陽よりもあついなんで、どうも考える事ができな
 かつた。そして、今よりもこのような事がもう起き
 ほしくなると、思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の特別授業を受講して僕が学んだのは、色々ありましたが、一番大きかったのは、原子爆弾たった一発で失われれてしまった命です。大勢の人達の大切な命が一発の爆弾でほとんどの方達の命をうばってしまうおそろしさに僕はおどろきました。そして、僕は怒りもしました。爆弾を落として、人々の命を簡単にうばってしまうことが本当に正しい事なのか、と思ふからでもなから僕は、将来りっぱな大人になって、戦争や争いは、人々を悲しませることしかできないだと世の中に伝えていきたいです。そして、日本だけではなく、世界にも、争いのおそろしさを伝えていき、争いが無い、平和な世界をみんなとつくっていきたいです。そのために、今から歴史のことについて学び、今よりもっと原子爆弾のことやその原子爆弾を落とされた地域のことを知りたいたいと思ひます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

原爆というものがおそろしいことがわかった。はじめからよくしっているものといふことは知っていたけれど、今回の特別授業を受講して原爆のことをよくしつたりけじめよくしていただくとさらにしつたりすることを思ひだせたら広島に投下された原爆の「リトルボーイ」は全長約5m 重さ約4tもの物体が約32m上空から4km 半径に物線を描いて地上600mの位置で爆発した。爆発が一番おとろいたのはその地上600mで爆発した「リトルボーイ」の温度で爆発した直後に赤い球体になり、それが直径200mまでふくらみあがり、その球体の中心温度が100万度で表面温度が7000度で地面が3000度からでる太陽の表面温度より1000度あついがらおとろきました。あと「リトルボーイ」が爆発したときの衝撃波の速さは音速の約1.5倍、その速さは毎秒440m進んで速さが半分おとろきました。



じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の特別授業を受講して原爆のおそろしさと今の生活がどれだけの幸せなのかを知りました。私は当時広島にいた。祖父から、原爆の話を知っていました。また「小笠原」の頃聞いたのであまり細かく覚えていませんでした。なので今回は、お話を具体的な写真から様子がよく分かったのととてもいい機会だと思っています。

原爆は、一人一人の命をうばうとおそろしい物です。私は当時の人々がどれだけの苦しみ、おそろしい時を過ごしていたのかと考えると、胸が痛みます。何も悪くない人の命が原爆というおそろしく、あつてはいけなかったことと私は思います。だから、唯一の被爆国として日本はこのことを世界へ伝えていくべきだと思っています。

願わくば世界で争いがなくなり、人々が平和に暮らせる日が来ることを願います。今の私たちの幸せな生活が続くことを願っています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業を受講して、原爆
 のおそろしさ、ひさんさを改めて感じまし
 た。ぼくは見たことばかりじゃありませんか、ひらと服
 がくっついてたえさかかっている本葉子を想像
 して見ると、おそろしくそしてそのような体にな
 ってしまう人がどれだけ苦しく、痛かた
 かが原爆先生のしゃべり方や重力作によ
 てい云あるきました。ぼくは直接見に行きたこと
 はありませんか、原爆ドームや原爆資料
 食宮も見に行けて、もっと原爆について先生の話を
 聞いてもっと知りたいたいと思いました。そして原
 爆先生のやさしさが話しているときにどうしてな
 めたかを流したのかを100%知ることかいてまなく
 とも70%ぐらいは知ることかいてできるように大
 島に行ってみようと思います。

ほんとうに今回教えてくれた「まありか」とい
 いましたこの経験をおすれずに日々の生活を
 ありがたき思いながら生活してゆこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原子爆弾についてよく知ることかできて、よかったです。何よりも、爆発の表面温度が太陽のよりも高いことにおどろきました。また、爆心直火を受けた人は炭化してしまふことも知って、ぞろぞろしました。僕は、この特別授業を受講する前は、衝撃波は一度しか来ないと思ひました。なので、衝撃波が地面にはね返ってまた来ることを知るとは、勉強になりました。また、衝撃波が音速を超えるなんて想像もしていませんでした。原子爆弾が皮膚をはかき落とす程の熱を持っているとは思ひませんでした。この学習を通して、命の大切さと共に、戦争は二度としない方がいいと学びました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は、1945年(昭和20)年8月6日に広島に、9日には長崎に、世界で初めて、原子爆弾が落とされ、一瞬で79万の命がうばわれた。原子爆弾による被害は、死者が広島では、118661人、長崎では、73884人。原爆くしょうという病気にたくさんの方が命をおとした。原子爆弾の表面は、7000℃で太平洋の表面1000℃よりも原子爆弾は熱い。衝撃波の速さ、音速340m/秒よりも早い、490m。なので、建物もすべてこぼれこぼれになる。爆心直下3~4000℃、屋外にいた人は、一瞬で死んだ。外の階段のところでまっていた人が原爆にあい、階段にいた時のしみが階段に残った。原爆がおちる前は、原爆ドームは、広島県産業奨励館という名前だった。原爆ドームは屋根のほとんどが放り飛ばされた。だけど原爆ドームの中にいた人が、1人だけ助かった。その人は、電話局の地下のトイシの中にいた人が希跡的に助かった。原子爆弾投下都市の条件は、1.直径5kmを超える。2.平野である。3.空襲がなかった。という条件。候補になった都市は、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京橋。天候の良い日に原爆をおとす。この中で京都が一番強くおとされた。だが、京都が除外された。理由は、人間にとって京都は重要な文化があるからだ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが今日の特別授業をして学んだのは、原子爆弾一つの爆発で、家などの建物や車などが衝撃波でこなごなになったり、7000℃の熱線で、人の体のひびきなどがけられたり、大やけどをおったりするなどの苦しい思いをするとして、放射線により、爆発のときは生きていてもその後何十年かたって、放射線によりなくなってしまう、つらい思いをする人がいたんだなと思います。ついでと原子爆弾は使ってはいけないくたなと思いました。ぼくは、生きている間に原爆ドームや原爆資料館に行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

知らない事がたくさんあって被爆者しか分からない
事もたくさん学んだ事が出来た。私が授業を受けていた
時におどろいたのは原子爆弾の力だ。熱線、
衝撃波、放射線。この3つで多くの人が命をうばわれ
今も原爆病で苦しんでいる人がいると聞いて本当に
原子爆弾の力は計り知れないと思った。
広島に投下された原爆「リトルボーイ」の熱さを聞き
熱いというより泣き叫ぶ人がたくさんいるのを聞いて
とても悲しくなった。
私がこの学習を通して今ある平和を未来に残して、
この平和のしあわせをずっと感じつつ生きていきたい。
またこの原子爆弾のおそろしさをわすれる事なく
一人でも多くの人に学んだ事を伝えていければ
いいと思う。私はこの学習を通して本当にたくさん
の事を学びもう二度とこんな事があってはならない。
原子爆弾はこの世の中にあってはならないと思った。
原爆爆薬がこの世の中になくてもならないものだとも
思った。